

# 食の卓 周辺の

今回は、計  
報を2件お  
伝えしなけ  
ればならな  
いのが、悲し  
い限りです。

熊本子どもの本の研究会が大変大  
変お世話になりました鶴見俊輔先生  
がお亡くなりました。急遽、今号会  
報の紙面で特集を組み、在りし日の  
先生をご紹介して、皆さんに、懐か  
しく偲んでいただくことにしました。

7月24日早朝、東京の娘から、続  
いて息子から、鶴見先生が亡くなら  
れたとの計報が届きました。まだま  
だ心残りで、寂しい限りです。  
そして、私の個人的なことですが、  
毎日新聞社に勤めている娘が、初任  
地・名古屋本社での直属の上司で、  
大変お世話になり、その後もずっと  
心にかけていただいた根上馨氏（元  
東京本社副代表）が、5月19日に亡  
くなられ、7月22日に「根上馨さん  
を偲ぶ会」が行われるとのこと案内を  
いただきました。

\*

「偲ぶ会」に出席するため、19日  
から上京。その夜は娘の家に泊まり、  
娘の手料理のご馳走をいただきなが  
らの夕食は楽しいもので、娘婿相手  
に飲むアルコールの量も普段の倍位。  
娘は料理が上手で、私が食べたこ  
とのない外国の料理をいく品も作っ  
てくれました。

上京するとき持参した、H地銀と  
契約した書類を、娘に見せたら、「こ  
れは保険よ。絶対よくない内容だか  
ら解約するように」と言います。

「私の葬式金と違って、まこちゃ  
んに」と言いましたら、「私も兄ちゃ  
んもお金はたくさん持っているから、  
葬式金なんて心配しなくていいの」  
と、叱られました。

H地銀だからと安心して、勧めら  
れるままに、当面使うことない預金  
を。チェックを入れる時も読み取れ  
ない文字で、わからないなと思いな  
がら、言われるままに記入したので  
すが、これでは、年寄りがトラブル  
に巻き込まれるわけと思いました。

娘は、「グリーンングオフが過ぎてい  
るかもしれないけれど、勉強代と思

って解約しなさい」と。

20日は、新江古田のマンションに  
寄り、夕方、都庁前駅改札口で長男  
が迎えてくれました。息子が予約し  
ていたお店は、美味しい料理でした。

\*

連休明けの21日朝一番に、銀行に  
電話して解約を伝えました。上京中  
ということ。携帯電話を教えたのに、  
何時まで経っても連絡なし。その夜、  
人と会うことになっていたので、再  
度、電話したら、担当の男性と替り、  
「今から申し上げる文章を横書きで  
書いて、郵送で、郵便局の窓口に出  
してください」と。

隣りのコンビニで便箋と封筒を購  
入。時間外も開いている練馬郵便局  
にタクシーを飛ばし、簡易書留で送  
付。グリーンングオフできました。

銀行が提示する書類は、薄い橙色  
の文字。「読み取れないですね」と言  
いましたら、「機械は読み取ります」  
とおっしゃる。

\*

Kさんとの待合せ場所は、渋谷駅  
ハチ公出口の交番前。途中、「少し遅

れるかもしれない」とメールする。  
ハチ公は見つけたけれど交番が判  
りません。今度は携帯に電話。人混  
みの中、「ここ、ここ」と、手を振り  
ました。若者みたい。先ずは、彼の  
行きつけの居酒屋で。その後は、店  
を変えてアルコールなし。練馬駅に  
着いた時、私の乗る終電は出た後で  
タクシー乗り場まで送ってくださいっ  
た。五時間近く一緒に過ごしていた  
のに、何を話していたのか、思い出  
せません。

後日、「終電に間に合わなくてす  
まませんでした」とメールが届きまし  
た。いつもごちそうさま。（横田）

■編集Ⅱ堀・倉岡・横田